

平成27年度 行政評価事業別シート

	実計対象	<input checked="" type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	千葉 智子
	全体計画	平成27年度 ~ 平成29年度		経費区分	実施計画事業費		内線	3613				
事務事業名	4257 教育活動支援事業											
所 属	300100 教育委員会事務局・学校教育課											
施 策	02010700 特色ある魅力的な学校づくりの推進											
予算科目	会計	01 一般会計										
	科目	100103 教育費・教育総務費・教育奨励費										
	事業	040000 教育活動支援事業										
事業目的						事業概要・効果						
小中学校において、きめ細かい行き届いた教育を行うため、教員補助員及び外国籍児童生徒支援員を配置する。						教員補助員は、担任だけでは支援しきれない、個別に支援を必要とする児童生徒の支援に当たり、個々に寄り添ったきめ細かい支援を行う。 外国籍児童生徒支援員は、日本語の読み書きが十分でないため、専門的に指導と支援を行い、授業や保護者との意思疎通を図る。						

PLAN-DO
年度実績及び予定

平成22年度 実績	平成23年度 実績
平成24年度 実績	平成25年度 実績
各小中学校、支援学校に教員補助員31名を配置し、障がい・多動行動児童等の学校生活における担任の補助を行い、教育活動の充実が図られた。また、外国籍の児童生徒に対し、支援の講師を配置し、日本語の指導を行い学校教育の支援が図られた。	各小中学校、支援学校に教員補助員31名を配置し、障がい・多動行動児童等の学校生活における担任の補助を行い、教育活動の充実が図られた。 外国籍の児童生徒に対し、日本語の指導を行い学校教育の支援が図られた。
平成26年度 実績	平成27年度 予定
各小中学校、支援学校に教員補助員33名を配置し、障がい・多動行動児童等の学校生活における担任の補助を行い、教育活動の充実が図られた。 外国籍の児童生徒に対し、日本語の指導を行い学校教育の支援が図られた。	教員補助員34名及び外国籍児童生徒支援員を配置し、小中学校において、きめ細かい行き届いた教育を行う。

指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		平成26年度 決 算	平成27年度 予 算
事業費		1,149	1,400
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	430	857
一般財源		719	543
人員数(人)	正規職員	0.1	0.1
	嘱託職員	1.0	1.0
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	685.8	685.8
	嘱託職員	2,725.0	2,725.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	3,410.8	3,410.8
市民一人当たりの経費		0.1	0.1
総額		4,559.8	4,810.8

(単位：千円)

平成26年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	970	外国籍児童生徒支援員謝礼 969,375円
11節 需用費	0	
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	179	教員補助員旅費 178,815円

(単位：千円)

平成27年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	1,200	外国籍児童生徒支援員謝礼 1,200,000円
11節 需用費	0	
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	200	教員補助員旅費 200,000円

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	必要不可欠
評価コメント	教員補助員や外国籍児童生徒支援員を配置し、問題を抱える児童生徒に対し、個々に寄り添ったきめ細かい支援を行う。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	大変有効
評価コメント	教員補助員は、担任だけでは支援しきれない、個別に支援を必要とする児童生徒の支援にあたり、教育活動の充実が図る。 外国籍児童生徒支援員は、日本語の読み書きが十分でないため、専門的な指導と支援を行い、授業や保護者との意志疎通を図る。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	向上
評価コメント	教員補助員研修会の開催。 指導主事の配置により、各学校への適切な指導・助言。	

振り返り（決算年度の取組み課題）
小・中・支援学校においてきめ細かい行き届いた教育を行うため、教員補助員及び外国籍児童生徒支援員を配置する。

ACTION

1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

総合評価コメント

インクルーシブ教育の推進が言われる中、特別な支援（外国籍含む）を要する児童生徒への対応は今後も必要

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

2次評価コメント

個別に支援を必要とする児童生徒に対し、円滑に学校生活を送れるように継続した支援事業が必要である。

外部評価

次年度以降の方向性	
-----------	--

外部評価コメント

--